

## 平成30年12月定例会運営日割

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
12月 3日	月	9:30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10:00	本 会 議	
4日	火			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
5日	水	9:30	議会運営委員会	議案等質疑
		10:00	本 会 議	一部議決 委員会付託
6日	木	9:30	建設経済常任委員会	
7日	金	9:30	厚生環境常任委員会	
8日	土			休 会
9日	日			休 会
10日	月	9:30	子ども文教常任委員会	
11日	火	9:30	総務常任委員会	
12日	水	9:30	補正予算常任委員会	
13日	木	9:30	議会運営委員会	
14日	金			休 会
15日	土			休 会
16日	日			休 会
17日	月	9:30	議会運営委員会	常任委員会等報告・議決
		10:00	本 会 議	一般質問
18日	火	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
19日	水	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
20日	木	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
21日	金	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	追加議案上程説明・議決
		本会議終了後	広報広聴委員会	

会 期

12月 3日～21日

19日間

## 子ども文教常任委員会日程

日時 平成30年12月10日（月）

午前9時30分

場所 第1議会委員会室

- 1 議案 第56号 藤沢市学校給食費に関する条例の一部改正について  
(教育部)
- 2 議会議案第 7号 藤沢市子どもの未来応援条例の制定について
- 3 陳情30第17号 神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 (教育部)
- 陳情30第18号 国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 (教育部)
- 4 報 告 (1) 奨学金給付事業の給付対象者の拡充について (教育部)  
(2) 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定等について  
(3) 浜見保育園園児アスベスト健康被害対策について

## 奨学金給付事業の給付対象者の拡充について

### 1 趣旨

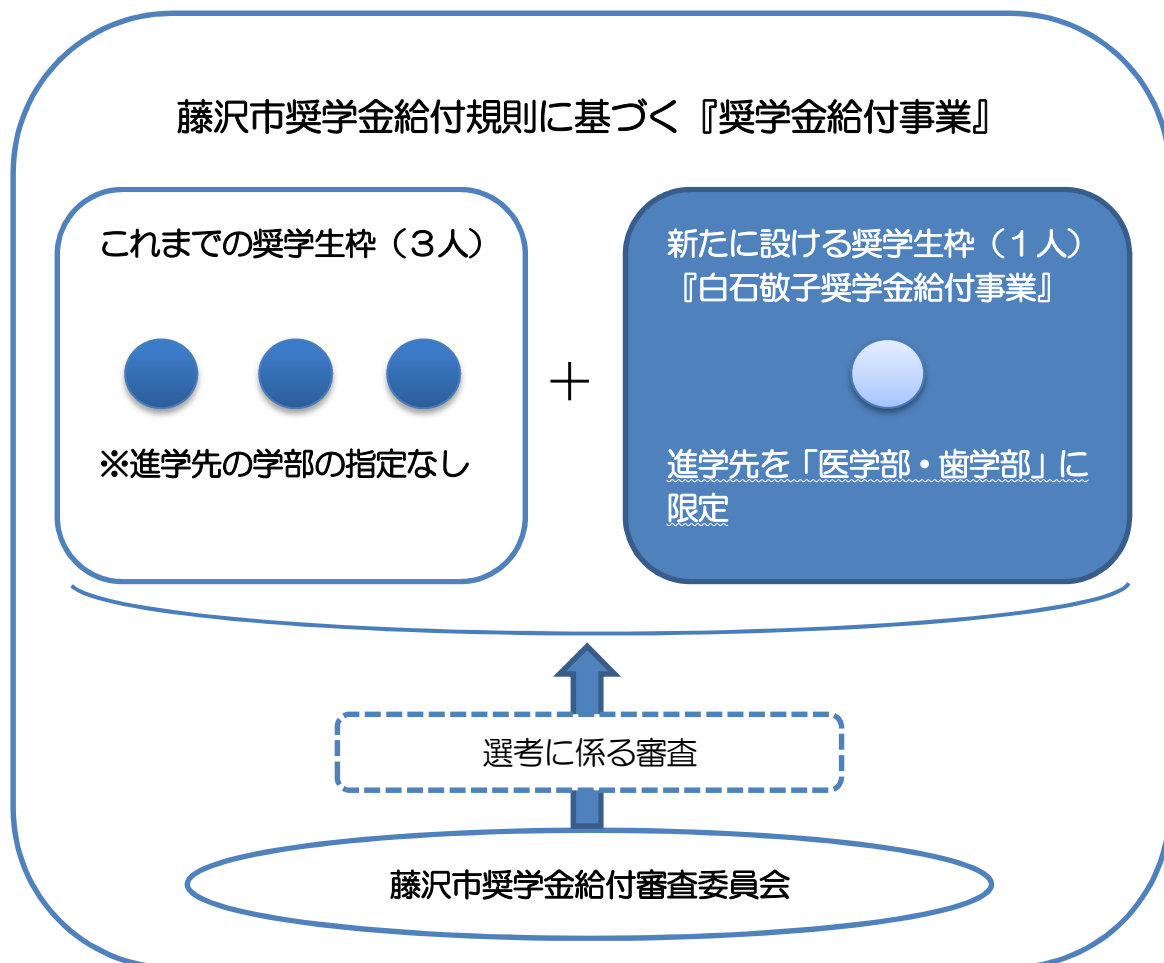
平成30年1月、日本を代表する国際的オペラ歌手である故白石敬子氏より、次の世代を担う子どもたちへの支援を目的として、教育応援基金に5千万円のご寄付をいただきました。

白石氏のご意思を踏まえ、経済的に厳しい環境にある中で医師・歯科医師を志す子どもたちが、将来に向かって希望をもって学んでいけるよう、奨学金給付事業の給付対象者を拡充します。

### 2 事業拡充のイメージ

奨学金給付事業の給付対象者の拡充として、現在実施している奨学金給付事業の中で、これまでの奨学生の枠に加え、進学先を「医学部・歯学部」に限定した新たな奨学生の枠を設けます。

なお、新たに設ける奨学生枠の事業名については、通称『白石敬子奨学金給付事業』と冠して実施します。



### 3 給付対象者

申請基準日時点で藤沢市に1年以上住民登録があり、以下の条件にあてはまる方を対象とします。

#### (1) 世帯等の状況

ア から ウ のいずれかに該当する方が対象となります。

ア 合計所得266万円未満（所得が給与収入の場合、年収400万円未満相当）  
世帯の子ども

イ 生活保護受給世帯の子ども

ウ 児童養護施設入所者または退所者

#### (2) 学力・資質要件

原則として、高校2年次の学年末における評定平均が3.7以上で進学目的が明確であり、学習意欲が高い者とします。

なお、申請時期については、高校3年生の時点で申請することが基本となりますが、学ぶ意欲を支援するため20歳に達するまでの間、申請可能とします。

### 4 給付人数

1年度あたり1人

### 5 対象とする大学等

学校教育法に規定する大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程とします。

### 6 給付額等について

以下の金額を上限とし、大学の正規の修学期間内に給付します。

#### (1) 給付額

ア 入学準備奨学資金（入学金相当） 1回 300,000円以内

イ 学費奨学資金（授業料相当） 月額 60,000円以内

<1人に対する給付金（6年間の上限金額）>

入学準備 奨学資金	学費奨学資金						合計
	入学時	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
30万円	72万円	72万円	72万円	72万円	72万円	72万円	462万円

#### (2) 給付方法

ア 入学準備奨学資金（入学金相当） 入学前に本人口座に振り込み

イ 学費奨学資金（授業料相当） 半期（6ヶ月）毎に本人口座に振り込み

なお、毎年、世帯状況や学業の状況を確認し、継続給付の可否を決定します。

#### (3) 給付の打ち切り、返還等について

大学を退学、除籍等となった場合は、以降の給付を打ち切るとともに、給付した奨学金を返還請求します。

ただし、特段の事由により退学等となった場合は、奨学金給付審査委員会の審査に基づき、一部返還又は免除とします。

## 7 併給について

国、県又は他の団体からの給付型奨学金との併給については不可とします。なお、貸与型奨学金との併給は可能とします。

## 8 給付対象者の選考

給付対象者については、二次審査まで実施し、世帯の状況や学業に対する意欲等を確認の上、選考します。

- (1) 一次審査・・・・・・・・世帯状況の確認、本人の成績
- (2) 二次審査・・・・・・・・小論文、面接

なお、給付対象者の選考にあたっては、奨学金給付審査委員会の審査を経て決定します。

## 9 藤沢型の支援について

給付対象となった子どもについては、入学時から卒業までしっかりとしたフォローが必要不可欠です。このことから、3ヶ月に1回程度面談を実施することにより、生活の状況を把握し、状況に応じた相談、助言を行うことで、本人が学業に十分に専念できる生活環境の確保を行います。

## 10 国による高等教育無償化への対応について

国においては、高等教育の経済格差緩和措置として、低所得世帯を対象に、大学などの高等教育の無償化を検討しており、平成32年度からの導入が予定されています。

本市の奨学金給付事業については、国による高等教育無償化が実施されるまでの間は、現行の内容で実施していくものとし、国の制度が明らかになった時点で、あらためて制度の見直しを行うものとしします。

## 11 事業スケジュール（案）

平成32年4月入学生から給付を開始します。（平成31年度予算）

<平成31年度>

- (1) 事業周知・・・・・・・・・・・・・・4月以降  
（ホームページ、広報ふじさわ掲載、チラシ配布）
- (2) 募集期間・・・・・・・・・・・・・・6月
- (3) 選考・・・・・・・・・・・・・・7月～9月
- (4) 奨学生の内定・・・・・・・・・・・・10月
- (5) 入学準備奨学資金の支払い・・・・・・・・大学への合格確認後

<平成32年度>

- (6) 学費奨学資金の支払い・・・・・・・・前期分、後期分の年2回支払い
- (7) 定期面談・・・・・・・・・・・・・・3ヶ月に1回程度実施

以 上

（事務担当 教育部教育総務課）

【参考】「これまでの奨学生枠」と「新たに設ける奨学生枠」の要件の比較

	項目	これまでの奨学生枠	新たに設ける奨学生枠
1	対象校	大学，専門職大学，短期大学，専門職短期大学，高等専門学校，専門学校	大学の医学を履修する課程，歯学を履修する課程
2	対象者の世帯（収入）要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民税非課税世帯の子ども</li> <li>・生活保護受給世帯の子ども</li> <li>・児童養護施設入所者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計所得266万円未満の世帯の子ども</li> <li>・生活保護受給世帯の子ども</li> <li>・児童養護施設入所者</li> </ul>
3	給付人数	3人程度	1人
4	学力・資質基準の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校2年次学年末での評定平均が3.1以上</li> <li>・面接，小論文にて学業に対する意欲等を評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校2年次学年末での評定平均が3.7以上</li> <li>・面接，小論文にて学業に対する意欲等を評価</li> </ul>
5	授業料相当額の支給	学費奨学資金（授業料相当） 月額 6万円以内	同 左
6	入学準備金の支給	入学準備奨学資金（入学金相当） 1回 30万円以内	
7	給付額の調整	国立大学の授業料減免制度を踏まえ，給付額を調整	
8	併給	給付型との併給は不可 貸与型奨学金との併給は可能	
9	給付後の確認	毎年度学業の状況等を確認	
10	廃止，返還	大学を退学，除籍等の場合は，以降の給付を打ち切り，給付した奨学金の返還を求める（理由により返還（全部・一部）又は免除）	

一般質問の件名及び要旨

平成30年12月定例会

番号	質問者氏名	件名	要旨
1	竹村雅夫	1 共に生きるまちづくりについて	(1) セーフティーネットとしての住宅政策について (2) <b>今日の知見をふまえた薬物「依存症」対策について（教育部）</b>
2	山内幹郎	1 地域商店街活性化について	(1) 商店街の現状 (2) いくつかの施策・取組と今後のビジョン (3) 市の施策体系・産業振興計画の進捗について (4) 関連する諸制度の動向と意見要望
3	山口政哉	1 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて	(1) <b>セーリングワールドカップ江の島大会を踏まえた今後の取組について（生涯学習部）</b> (2) 東京2020大会に向けた周辺地域の環境整備について (3) <b>聖火リレールートについて（生涯学習部）</b>
		2 東京2020大会終了後のレガシー創出について	(1) <b>ボランティア人材の育成と大会終了後の活用方策について（生涯学習部）</b> (2) 旧女性センター跡地について
4	有賀正義	1 魅力あるまちづくりについて	(1) <b>文化事業について（生涯学習部）</b> (2) 海水浴場関連事業について
		2 地域主体のまちづくりについて	(1) 辻堂地区の土地活用について
		3 地域包括ケアシステムについて	(1) 自立支援について

番号	質問者氏名	件名	要旨
5	武藤正人	1 藤沢市の「住民の福祉の増進」の取組みについて	(1) 行政運営について (2) 不適正な事務処理について
6	味村耕太郎	1 福祉行政について	(1) 国民健康保険について
		2 保育行政について	(1) 子育て支援をめぐる諸課題について (2) 地域の課題について
7	東木久代	1 2040年へ「活力ある地域共生社会の実現」について	(1) 「子どもの貧困対策」等について (2) 人生100年時代の生涯現役促進施策について（生涯学習部） (3) 市民にわかりやすい相談支援体制等について (4) 地域マネジメントについて
8	清水竜太郎	1 教育改革について	(1) 21世紀にふさわしい教育について（教育部）
9	北橋節男	1 地域により違う交通網について	(1) おでかけ六会について
		2 商店会振興について	(1) コラボレーションについて
		3 文化創出について	(1) 拠点としての図書館について（生涯学習部）
10	永井譲	1 公共施設の有効活用について	(1) 各分野の施設を有効活用するための施策について（生涯学習部）



番号	質問者氏名	件名	要旨
		2 誰もが安心して暮らせる藤沢づくりについて	(1) 「住民福祉の増進」のために進める、具体的施策について
11	平川和美	1 誰にも優しいまちづくりについて	(1) 障がい者支援について（教育部）
12	土屋俊則	1 福祉の充実について	(1) 介護保険について (2) 藤沢型地域包括ケアシステムについて
		2 地域の課題について	(1) 藤沢地区について (2) 村岡地区について（生涯学習部）
13	塚本昌紀	1 安全安心について	(1) 避難誘導について
		2 地域福祉について	(1) 民生委員活動の支援について
14	井上裕介	1 全庁課題について	(1) 働き方改革について
		2 まちづくりについて	(1) ホテル誘致について
15	阿部すみえ	1 誰もが輝けるまち・ふじさわについて	(1) がん患者等への支援等について（教育部）
		2 子どもたちの未来を守るまち・ふじさわについて	(1) 発達障がいの相談支援について（教育部）
16	佐賀和樹	1 市民の声について	(1) 意見，要望，苦情に対する対応，受け止め方について

番号	質問者氏名	件名	要旨
		<b>2 シティプロモーションについて</b>	<b>(1) 最大のシティプロモーションツール「オリンピック」の活用について（生涯学習部）</b>
17	神村 健太郎	1 マルチパートナーシップに基づく公民連携等の推進について	(1) 現在までの取組の検証について (2) 藤沢の未来に向けた新たな実践について
18	桜井 直人	1 健康寿命日本一へ向けた取り組みについて	(1) 今後の取組みについて (2) 健康経営について (3) 健康のセルフチェックについて
		2 藤沢市北部のまちづくりについて	(1) 長後地区のまちづくりについて (2) 北部観光について
		3 市長の政治姿勢について	(1) 目指す将来像について (2) 目標を達成するための取組みについて
19	柳沢 潤次	1 「藤沢市行財政改革2020」について市長の政治姿勢を問う	(1) 行政改革について (2) 財政改革について (3) 職員の意識改革について
20	西 智	1 子供の健康について	(1) 子供の弱視の早期発見のための取り組みについて
		2 子供が安心して学べる環境について	<b>(1) 小中学生のかばんの重さを減らすための対応について（教育部）</b>
		3 子育てを支える環境について	(1) 小学生の放課後の居場所づくりについて

番号	質問者氏名	件名	要旨
21	酒井信孝	1 ごみ・リサイクルについて	(1) 自転車等の不法投棄について (2) ごみの減量・再資源化について
		2 子どもを取り巻く安全情報について	(1) <b>市境地域の情報共有について（教育部）</b>
		3 ジェンダー差別について	(1) 市職員の服装規定について
		4 庁舎の防火管理体制について	(1) 消火器の表示について
22	加藤 一	1 本市の産業政策について	(1) 市内企業の新たな取組への参画について (2) 既存企業への新たな支援策について
23	原田 伴子	1 未来を選択する市政運営について	(1) 「平穏死」を通して考える家族や地域のかたちについて (2) 政策の優位性を活かしたまちづくりについて
24	堺 英明	1 <b>本市の教育行政について</b>	(1) <b>小学校教諭における不祥事について（教育部）</b>
		2 市長の政治姿勢について	(1) 財源不足とその対応について (2) 行財政改革・職員給与削減について